



宮城小通信

郡山市立宮城小学校

学校便り No.16

令和5年6月2日

文責：校長 伊藤 孝行

宮城中での陸上教室に参加しました。

5・6年生は、宮城中で開かれた陸上教室に海老根小の5・6年生と一緒に参加しました。



宮城中学校の体育の阿部先生の専門的な指導を受け、子どもたちは、走る時の正しいフォームを学ぶことができました。

図書室の掲示が6月版にアップされました。

図書ボランティアの保護者の皆様のご協力により、図書室の掲示が6月版にアップされました。



季節に応じた掲示物は、図書室に来るだけでも楽しくなってしまうものばかりです。

今年度からは、学校司書の先生も定期的に来校し、新刊図書の選定やお勧めの図書紹介などをしてくださっています。

読み聞かせ、図書ボランティアの皆さんや学校司書の先生の支援で、本に親しみ読書好きの子どもが増えることを楽しみにしています。

小5「バナナ320本で死ぬ」と叫ぶ！



5月29日(月)の読売新聞にこの見出しがありました。内容は、千葉県の小5男子は「都市伝説投稿サイト」に夢中で、ある日、そのサイトで見つけた「バナナを320本食べると死んでしまう」という情報を教

室で話したところ、友だちから注目されました。そのことが嬉しくなり、さらにそのサイトに夢中になり、何時間もスマホを見続けるようになったということです。

その小5男子が見ていたサイトには、「水7リットル飲んだら死ぬ」とか「醤油1リットル飲んだら死ぬ」などと、簡単に「死ぬ」という言葉が使われていました。

ネットやYouTubeの場合、興味があるものをどんどん勧めてくるシステムになっています。

偏ったサイトを見ていると、それが真実のように思いこんで、親や友だちの話も聞かなくなってしまうことがあります。

ネットやYouTubeは楽しいものですが、お子さんが視聴する場合、時間や内容については、それぞれご家庭で話し合いルールを設け、極端にならないようご注意くださいようお願いいたします。

ある年齢以上の方は、「ノストラダムスの大予言」という都市伝説に、日本中が振り回された記憶があると思います。

6月の満月は4日(日)です。

アメリカの先住民族ネイティブアメリカン(インディアン)は、その月の満月に、時期に合った名前を付けることで季節を把握していたといわれています。



6月の満月は「ストロベリームーン」と呼ばれます。それは月が赤く見えるかではなく、北アメリカでは毎年6月にイチゴの収穫を行うことにちなんでこう呼ばれます。

また、ネイティブアメリカンの言い伝えでは、「ストロベリームーン」に願い事すると叶うと言われています。